



「JALホノルルマラソン」

60歳から64歳の部で見事優勝

竹田 静子 さん



PROFILE

たけだ しずこ(佐倉二区・61)
「民宿たけゆう」のおかみを務めながら日々練習に励んでいる。11月に開催される「しずおか市町対抗駅伝」にもスタッフとして参加し、御前崎市チームを支えている。

JALホノルルマラソン優勝

昨年12月9日にアメリカ合衆国ハワイ州で開催されたロードレース大会「JALホノルルマラソン」に出場し、60歳から64歳の部で見事優勝したのが竹田静子さんだ。本年度4月に掛川市で開かれた「第14回掛川・新茶マラソン」60〜64歳の部でも優勝するなど、顕著な成績を収めている。

竹田さんは現在、市体育協会陸上部に所属し、マリンパークマラソンや市町対抗駅伝のスタッフとしても活動している。浜岡総合グラウンドで真剣に練習に取り組んでいる子どもたちや指導にあたる監督、コーチから元氣とやる気をもらっているという。

現在61歳の竹田さんが走ることを始めたのは44歳のとき。2人の息子が進学のために家から離れたことになったため、ダイエットと体力作りをしようと「市民プール」のスポーツジムに登録し、ルームランナーで走り始めたことがきっかけだった。以来おかみとして民宿を切り盛りしながら、時間をみつければトレーニングをしていると話



す。週末には仲間らと10キロから20キロの距離を走り込み、月間で走る距離は200キロを超すことが多い。竹田さんは、これほどの距離を走ることができる理由を「良い仲間の存在と、中高生の部活動をやっているようで楽しいから」と語る。

日々の努力を積み重ねた結果だろう。これまで42ものフルマラソンの大会に出場し、自身が目標としている4時間未満のタイムを27回も記録することができた。竹田さんは、現在の目標を「本年12月に開催されるJALホノルルマラソンで昨年度の記録を塗り替えて優勝すること」と意気込む。常に前を向き続ける竹田さんの走りはこれからも止まることはないだろう。